No. 129

構文・英文和訳 ULTIMATE CHEAT SHEET

比較構文の読解チートシート(the 比較級・倍数・クジラ)

比較の文は「何と何を」「何の物差しで」比べているかが決まれば訳せる。省略だらけの than 以下を補い、ひねった比較を正しく読む。

Web版はこちら

ここだけ3行

1 比較は「何と何を・何の物差しで」をまず確定
2 than・as の後ろは省略だらけ。前と同じ形を補う
3 no＋比較級＝差ゼロ。not＋比較級＝範囲を言うだけ

比較の読解は2つの質問で決まる

①何と何を比べているか(than・as の後ろに省略された語を補う)②何の物差しか(比較級になっている形容詞・副詞)。than 以下は前半と同じ形のくり返しなので、英語は遠慮なく省略する。並列と同じで「前と同じ形を探して補う」と読める。逆に、比べる相手が書かれていない比較級もある(than ever・the younger generation)ので、そこは文脈から相手を決める。

◆ 比較の文を読む3ステップ 3

① **物差しに印**
比較級・as ～ as の形容詞・副詞を囲む(何の多さ・速さ・大切さか)

② **比べる相手を補う**
than・as の後ろの省略を、前半の形に合わせて書き足す

③ **否定・no・倍数を確認**
no／not・times・less があれば、差と向きを訳に出す

◆ ① 何と何を比べている？省略と代名詞 6

☐ 1 than の後ろは前の形を補う

than I (can)、than (it was) last year のように、前半のくり返しが省略される。補ってから訳す。

> The city is much safer now than (it was) twenty years ago.
> その町は20年前よりずっと安全になった。

☐ 2 目的語か主語か：2通りの than

He loves his dog more than his wife. は「妻が犬を愛する以上に」とも「妻を愛する以上に」とも読める。文脈で決め、和訳ではどちらかを明示する。

> He loves his dog more than his wife (does).
> 彼は、奥さんが愛する以上にその犬を愛している。
> He loves his dog more than (he loves) his wife.
> 彼は奥さんよりも犬を愛している。

☐ 3 that of／those of

比べる物をそろえるための代名詞。that＝前の単数名詞、those＝複数名詞。訳では元の名詞に戻す。

> The population of Tokyo is larger than that of New York.
> 東京の人口はニューヨークの人口より多い。

✕ that を「あれ」と訳す

☐ 4 than ever／than expected

相手が「これまで」「予想」の比較。than ever＝かつてないほど、than expected＝予想より(向きは比較級で決まる)、than usual＝いつもより。

> More students than ever are choosing to study online.
> かつてないほど多くの学生がオンラインで学ぶことを選んでいる。

☐ 5 相手のない比較級(絶対比較級)

the younger generation(若い世代)、higher education(高等教育)、the upper class は「～より」と訳さない。漠然と「比較的～な側」。

> Higher education should be open to everyone.
> 高等教育は誰にでも開かれているべきだ。

✕「より高い教育」と訳す

☐ 6 more＋名詞 … than が離れる

more の後ろの名詞と than の間に修飾語が入って遠く離れる。more を見たら than を探しにいく。

> More people use smartphones to read the news today than read newspapers.
> 今では、新聞を読む人よりスマートフォンでニュースを読む人の方が多い。

◆ ② The 比較級 ～, the 比較級 … を読み解く 4

☐ 1 元の語順に戻して読む

the＋比較級(＋名詞・形容詞)は節の頭に移動している。元の位置に戻すと構造が見える。後半が主節。

> The more books you read, the wider your vocabulary becomes.
> 本を読めば読むほど、語彙は広がる。(＝you read more books／your vocabulary becomes wider)

☐ 2 S＋be の省略

The sooner, the better.(早ければ早いほどよい)のように主語・動詞がまるごと省かれる。補って訳す。

> A: When should I send it? / B: The sooner, the better.
> A:いつ送ればいい？ B:早ければ早いほどいいよ。

☐ 3 長い文は「～につれて」も可

「～すればするほど」が日本語として重いときは「～につれて」「～ほど」で処理。比較級の訳抜けだけは避ける。

> The higher we climbed, the colder it became.
> 登るにつれて寒くなった。

☐ 4 all the 比較級／none the 比較級

the は「その分だけ」。all the better for A＝A なのでなおさら、none the wiser＝それでも少しもわからない。

> I read the manual twice but was none the wiser.
> 説明書を2回読んだが、さっぱりわからなかった。

◆ ③ 倍数・数量：数字を正しく読む 4

☐ 1 X times as ～ as／X times the 名詞 of

倍数は前の as の前。名詞型は size・number・amount・length。X times 比較級 than も使う(twice には普通使わない)。

> The new stadium holds three times as many people as the old one.
> 新しいスタジアムには古いものの3倍の人が入る。

☐ 2 差は by か比較級の前

five centimeters taller＝taller by five centimeters。much・far・a lot・even は差の大きさ。

> She is three years older than her husband.
> 彼女は夫より3歳年上だ。

☐ ❸ as many [much] as＋数字

「〜も」と数の多さを強調。as few [little] as は「わずか〜」。as 〜 as の比較とは別の読み。

> As many as 10,000 people attended the festival.
> 1万人もの人がその祭りに参加した。

☐ ❹ no と not の数量4兄弟

no more than＝たった(only)、no less than＝〜も、not more than＝多くて(at most)、not less than＝少なくとも(at least)。詳しくは「難解構文がストンと落ちる解説20」。

> The repair took no more than ten minutes.
> 修理はたった10分で済んだ。

◆ ④ ひねった比較：言いたいのはどっち？ 7

☐ ❶ クジラ：no more A than B

than 以下に誰が見ても×の例を置く型。「B が〜でないのと同じく A も〜でない」と両方否定(no less なら両方肯定)。※B が明らかな×でなければ普通の比較のことも。

> I am no more a robot than you are.
> 君がロボットでないのと同じく、私もロボットではない。

× 「私は君ほどロボットではない」と比べる訳

☐ ❷ more A than B(同じ人の2つの性質)

形容詞2つを比べると「B というよりむしろ A」。この形では -er にせず more を使う(more shy than rude)。

> He is more shy than unfriendly.
> 彼は無愛想というより内気なのだ。

☐ ❸ not so much A as B／less A than B

どちらも「A というよりむしろ B」。主張は後ろの B。less A than B は A の方が「少ない」と考える。

> She was less a teacher than a friend to us.
> 彼女は私たちにとって先生というより友達だった。

× A と B を逆にした選択肢を選ぶ

☐ ❹ never・couldn't＋比較級＝最上級

I've never seen a more beautiful view.＝こんなに美しい景色は見たことがない。couldn't be better＝最高だ。

> A: How are you? / B: Couldn't be better.
> A:調子はどう？ B:最高だよ。

☐ ❺ 最上級＝「〜でさえ」

一般論の文では、主語の最上級が「どんなに〜な人でも」の意味になる。even を補うと自然。

> The wisest person can make mistakes.
> どんなに賢い人でも間違えることはある。

☐ ❻ much [still] less 〜

否定文の後で「まして〜ない」。同じ意味で let alone もよく使う。肯定文の後の much [still] more(まして〜だ)は古風。

> He can't boil an egg, much less cook a full meal.
> 彼は卵もゆでられない。まして料理一式なんて作れない。

☐ ❼ as good as／as 〜 as ever

as good as＋形容詞・分詞＝「〜も同然」(almost)。as 〜 as ever＝相変わらず〜。as 〜 as any＝どれにも劣らず〜。

> The car is as good as new.
> その車は新品同然だ。

◆ 比較の訳し方 早見表

形	訳の型	見落としやすい所
比較級＋than ever	かつてないほど〜	比べる相手は「過去」
the 比較級, the 比較級	〜すればするほど…	後半が主節
X times as 〜 as	〜の X 倍…	何の倍かを明示
no more A than B	B と同じく A も〜でない	両方否定
less A than B	A というよりむしろ B	主張は B
最上級(主語・一般論)	どんなに〜でも	even を補う

◆ 読解問題で狙われる誤読 5

☐ ~~× the younger generation＝もっと若い世代~~
○ **若い世代**
相手のない比較級は「〜より」と訳さない

☐ ~~× that of New York＝あのニューヨーク~~
○ **ニューヨークの人口**
that は前の名詞のくり返し

☐ ~~× As many as 500＝500と同じくらい~~
○ **500もの**
数字の前の as many as は強調

☐ ~~× He is more shy than unfriendly.＝彼は無愛想な人より内気だ~~
○ **無愛想というより内気だ**
同じ人の2つの性質を比べている

☐ ~~× The wisest person can make mistakes.＝最も賢い人が間違えることがある~~
○ **どんなに賢い人でも間違えることはある**
一般論の文では最上級が譲歩の意味になる

◆ 確認テスト

1 The climate here is milder than ＿＿ of Hokkaido.
a one　b that　c it　d those

2 ＿＿ you practice, the better you will get.
a So much　b The more　c More　d The most

3 This bridge is ＿＿ as the old one.
a long twice　b as twice long　c twice long　d twice as long

4 She is no ＿＿ a robot than I am.
a much　b most　c many　d more

5 He can't speak English, ＿＿ French.
a no less　b much more　c still more　d much less

6 Prices are rising faster ＿＿ expected.
a than　b that　c as　d then

◆ 解答

1 that the climate(単数)のくり返し
2 The more The 比較級, the 比較級
3 twice as long 倍数は前の as の前
4 more 私がロボットでないのと同じく彼女も違う
5 much less 否定の後の「まして〜ない」
6 than than expected＝予想より(ここは予想より速く)